

まきょうしん

毎月1日の「ノーTVデー」を実践しましょう!!

発行日
平成28年12月20日
発行
平泉町教育振興運動推進協議会
(平泉町教育委員会内)
TEL 46-5576
FAX 46-2015

全国に「平泉学」の取り組みを情報発信!

～ 第7回世界遺産学習全国サミットinひらいずみを盛大に開催!～

「地域を誇りに思い、愛するふるさとを自分達の言葉で語ることができる子どもを育てよう」そんな同じ思いを持ち、世界遺産学習や地域ふるさと学習に積極的に取り組む全国の学校・自治体関係者が平泉に集まり、11月5日(土)、平泉小学校を会場に「第7回世界遺産学習全国サミットinひらいずみ」(主催:世界遺産学習連絡協議会、町教育委員会)を開催しました。

この世界遺産学習全国サミットは、奈良市教育委員会が中心となって平成21年に世界遺産学習全国連絡協議会を発足。翌年の22年から世界遺産学習全国サミットを開催し、以来、全国各地で取り組まれている世界遺産学習やふるさと学習、自然・環境学習、ESD(持続可能な開発のための教育)などの取り組みを発表し合いながら、この素晴らしい学びを全国に広げていくことを目的に開催しています。

本町では、学校や地域を中心に、地域学習「平泉学」に積極的に取り組んでおり、町内の園児・児童・生徒も大会に参加しながら「平泉学」の実践活動を全国に向けて発信しました。

それでは、大会の様子についてご紹介します。

【午前の部:分科会】各テーマごとに、7つの分科会に分かれての実践発表



午前中は、文化遺産・自然遺産・ふるさと学習・ESDの各テーマに分かれての実践発表。北は青森県深浦町、南は福岡県大牟田市と、全国から16の学校や自治体関係者が先進的な取り組み事例を発表しました。発表後は、参加した関係者からたくさんの質問が出され、活発な分科会となりました。

秋田県横手市からは、地域で取り組む小学生の「子ども歌舞伎」についての発表が行われました。歌舞伎に取り組む横手の児童も参加し、取り組みの様子や実際に衣装を着ている時の写真を掲げて見せるなど、ふるさとへの思いを語りました。



【午後の部：全体会①】 町内の子ども達がオープニングで活動の取り組みを披露



園児の「謡」



児童の合唱「平泉讃歌」



生徒の神楽「御神楽」

幼稚園・保育所年長児による「謡」、長島・平泉小5・6年生による合唱「平泉讃歌」、平泉中生徒有志・達谷窟毘沙門神楽による神楽「御神楽」で全国からの参加者をお出迎えしました。

【午後の部：全体会②】 児童・生徒による世界遺産学習実践発表



長島小児童発表



平泉小児童発表



平泉中生徒発表

町内の児童・生徒が『「世界遺産・地域遺産」を活かした「平泉学」』と題して実践発表。小・中学校が連携し、系統立てて取り組む「平泉学」の実践は高い評価を受けました。そのほか、斑鳩町立斑鳩小学校児童、釜石市立釜石東中学校生徒も参加し、素晴らしい取り組みを発表しました。

【午後の部：全体会③】 千葉科学大学の木曾功学長による記念講演



講師 木曾 功 氏

元ユネスコ日本政府代表部特命全権大使の木曾先生から「ユネスコ世界遺産とこれからの新しい教育（ESD）」と題して講演をいただきました。木曾先生は、持続可能な社会の担い手を育てるESDを学校現場で実践する必要があると言い「考える力を身につけさせることが世界に通用する技能の根幹を成す」とお話されました。

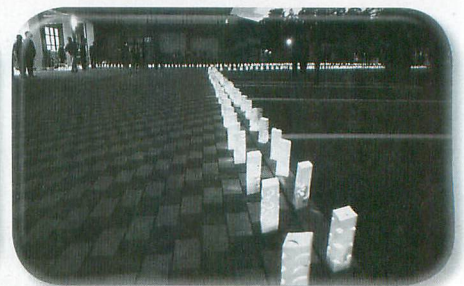
【おもてなし編】 地域の方々のたくさんのご協力をいただいたのおもてなし



会場入り口では平泉小・長島小児童が育てた菊がお出迎え



児童・生徒が考案した学校ブランド品のPR



大会終了後は「夢あかり」で参加者をお見送り

ここから新たに"平泉学"の取り組みが動き出します！

ジュニア平泉文化歴訪団活動報告

～ 県内の世界遺産や三陸ジオパークなどを学習～

平泉の文化遺産の価値を多角的な視点から学ぶとともに、リーダー育成を目指す「ジュニア平泉文化歴訪団」は、7月27日(水)から29日(金)までの3日間開催し、平泉小・長島小の児童10人が県内の世界遺産の史跡等を訪問しました。

今年で4年目となるジュニア平泉文化歴訪団は、県内での活動は初めてとなり、平成27年にユネスコ世界遺産に登録された釜石市の「橋野鉄鉱山」や東日本大震災で甚大な被害を受けた宮古市田老の「震災遺構」、三陸海岸の「三陸ジオパーク」、世界遺産登録を目指す一戸町の「御所野遺跡」などを訪れ、各地域の歴史や自然などの理解を深めました。

釜石市

～ 橋野鉄鉱山を学ぶ～



現地ガイドの方から、世界遺産に登録された橋野鉄鉱炉の歴史や価値、製鉄のまち釜石の説明などを聞き、詳しく学びました。

宮古市

～ 東日本大震災を学ぶ～



東日本大震災で被害にあった宮古市田老を訪れ、ガイドの説明を聞きながら震災遺構や防潮堤に上り、津波の恐ろしさを学びました。

田野畑村

～ 三陸ジオパークを学ぶ～



田野畑村では、三陸ジオパークを見学し、古代に地球規模の地殻変動でできた隆起地形や宮古層群の大きさなどを学びました。

一戸町

～ 御所野愛護少年団との交流 & 御所野遺跡を学ぶ～



一戸町では、一戸南小学校の「御所野愛護少年団」と児童交流を行い、お互いの町や文化遺産を紹介しながら交流を深めました。

情報メディアへの各実践区の取り組みを紹介

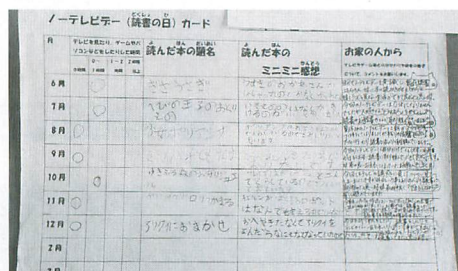
平泉町教育振興運動では、町内小・中学校3校を実践区に指定し、学校毎の実態や課題に即した特色ある取り組みを進めています。今年度の県・町の共通課題となっている「情報メディアと上手につきあおう」への取り組みが各実践区で積極的に行われていますので紹介します。

平泉小学校実践区「ノーテレビで読書」

ノーテレビデーを活用した読書デーの取り組み

毎月1日、町のノーテレビデーの取組に合わせ、情報メディアから離れてじっくりと家庭で読書に取組むよう呼びかけています。

- 一人一人の児童にノーテレビデーカードを配付し、家庭での取組の様子を記録していただく。(メディアに接した時間、本の題名、ミニ感想、保護者から)
- 取組の様子は通信で保護者にお知らせし啓蒙を図る。



月	読んだ本の題名	読んだ本のミニ感想	お家の人から
6月			
7月			
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
2月			
3月			

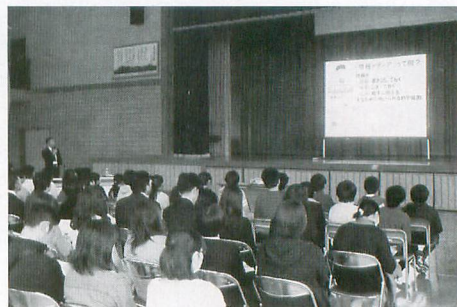
ノーテレビデーカード

長島小学校実践区「情報メディア講演会」

情報メディアと上手につきあおう

11月22日、家庭教育学級で県立生涯学習推進センターの澤柳健一先生を講師に「情報メディアと上手につきあおう」と題して講演会を開催しました。5、6年生児童と保護者・教職員、地区長さんや行政関係者も講演会に参加しました。

澤柳先生から情報メディアの利便性や危険性について具体的なお話をいただき、メディアとの適切な関わり方について情報を共有し、有意義な講演会となりました。



有意義な講演会でした

平泉中学校実践区「情報モラル学習会」

インターネット上のトラブルや危険を学ぶ取組

平成26年度からPTAとして継続して取り組んでいる「日9ノーメディア運動」につながる学習会を、今年度は2回計画し、1回目は7月に保護者と生徒を対象に、2回目は12月に生徒を対象に実施しました。

事例を踏まえた学習会を通じて、インターネット上の具体的な危険性や対処方法について学ぶことができました。



講話を通じて認識を深めました

情報メディアの利便性と危険性をみんなで学び、地域全体で取り組みましょう！